

福井発 原発再検証の声

久野・中央大理事長ら発起

政府提言向け「考える会」

国内最多の原発が立地 大理事長や県内の首長ら
する福井県から原子力政 策を再検証しようと、福
井市出身の久野修慈中央



久野中央大理事長らが中心となり発足した「原子力・エネルギーの安全と今後のあり方を真剣に考える会」の設立総会=23日、越前市福祉健康センター

考える会」を発足させ23日、越前市で総会を開いた。原発推進、反対の立場を超えて勉強会を重ね、半年後をめどに政府への提言を目指す。

民主党の若泉征三衆院議員が事務局を務め、奈良俊幸越前市長ら3首長、福田優福井大学長など10人が呼び掛け人に名を連ねた。これまで原発をめぐる議論は推進、反対の二項対立により柔軟さや透明性が乏しかった点を反省し、双方の立場から幅広く会員を募っている。

久野理事長は同日記者会見をして「県民が自らの問題として勉強し、発信していかなければ(全国でも)理解は深まらない。冷静に意見交換し、道をつけていくことが基本。率直に勉強して福井県のあり得べき方向を明確にしたい」と述べた。若泉

議員は福井県の意見も聴いていく考えを示した。設立総会には約100人が出席。満田副知事が祝辞を述べ、原発立地自治体では美浜町の山口治太郎町長が参加した。設立趣意書では「日本の原子力・エネルギー政策が重大な岐路に立たされた。もう一度再検証し、真剣に考え直すことが迫られている」とした。

強化、実効的な安全規制策定、施設内外での効果的な防災訓練などを挙げた。

川田さん松浦さん
秋季俳句で知事賞
県総合大会
本年度の秋季県総合俳句大会(福井新聞社後援)はこのほど、福井市のアオッサで開かれた。知事賞には、兼題の部が川田邦子さん(福井市)の「地震の地の空無傷なり鯛雲」、席題の部は松浦幸子さん(坂井市)の「雪吊りにつり上げられてる眼」が輝いた。

子さん(坂井市)の「雪吊りにつり上げられてる眼」が輝いた。

賞 渡邊和委賞 上嶋
▽県文化協
信子(福井
家協会会長
井市)▽福
山口美智女
BC福井放
善江(敦賀
ビ社長賞
井市)▽F
池田潤治(金森信子)【席題の

ふくいジュニア文学賞

手賀さんら103人表彰



第17回ふくいジュニア文学賞(福井新聞社、県小中高校教育研究会国語部会主催、三谷市民文化振興財団、北陸電力特別協賛)の表彰式が23日、福井新聞社・風の森ホールで行われた。大賞に選ばれた福井大附属小5年の手賀梨々子さんら入賞者103人が表彰された。

今回は県内の小中高生1334人から▽小説▽ふくいジュニア文学賞の表彰式で賞状を受け取る大賞の手賀梨々子さん▽23日、福井新聞・風の森ホール